

②地域を特徴づける注目種

飛行場の施設の供用に伴い海域へ負荷されるCODの寄与は轟川河口に限られ、また、その程度も0.02mg/L以下であり、事業実施区域周辺海域における生態系の主な基盤環境であるサンゴ礁、海草藻場の生息・生育環境及び分布状況の変化はなく、サンゴ礁、海草藻場を生息基盤としているアオサンゴ群落及び高被度サンゴ群落や海草類等注目種の生息環境や生息状況の変化はないものと予測される。

③生態系の機能と構造

飛行場の施設の供用に伴い海域へ負荷されるCODの寄与は轟川河口に限られ、その程度も極めて小さい。また、事業実施区域周辺海域における生態系の主な基盤環境であるサンゴ礁、海草藻場の生息・生育環境及び分布状況の変化はなく、サンゴ礁、海草藻場を生息基盤とする注目種の生息環境や生息状況の変化はないものと予測されることから、生態系の機能と構造の変化はないものと予測される。